



埼玉学習センター外観

放送大学  
埼玉学習センターだより

2016年5月号  
(通巻37号)



権現堂堤のアジサイ(幸手市)

# さ き た ま



平成28年度第1学期  
入学者の集い 渋谷所長挨拶



平成27年度第2学期 生涯学習奨励賞受賞者

## Contents

- P 2. 入学者の集い祝辞
- P 4. 教員紹介・退任挨拶
- P 5. サークル紹介
- P 6. 生涯学習奨励賞
- P 8. エッセイ「放送大学、私の体験」
- P 9. 卒業研究ガイダンス
- P 10. 面接授業追加登録
- P 11. 単位認定試験
- P 12. 窓口業務時間変更
- 公開講演会年間スケジュール



岩槻城址公園の桜とハツ橋  
(さいたま市)

# 〈入学者の集い〉祝辞

放送大学埼玉学習センター長 渋谷 治美

(4月3日(日)に本学習センター8F講堂にて挙行された〈入学者の集い〉における祝辞を掲載します。)



皆さまがた、ご入学おめでとうございます。

今年度第一学期に放送大学全体では25,711人の方が入学なさいました。そのうち埼玉学習センター所属の学生は、初めて入学なさる方が520名、再入学ないし再々入学以上の方が661名、合計1,181名です。本日の〈入学者の集い〉には約200名の方が参加下さっています。かくも多くのご参加をえまして、たいへん光栄に思います。

皆さまは放送大学に何を求めてご入学なさったのでしょうか。その動機・目的は、大きくいって二つあると思います。一つはキャリアアップです。例えば看護師の国家試験の受験資格を取得する、とか、保育士の方で幼稚園の教員免許取得を目差す、という方々がいらっしゃいます。他方、もう一つの動機は、純粋な学び、学び直しです。例えば長年のお勤めを果たされたあと、いっさいの束縛なく自由に学んでみたい、ということでごここにおいでの方もたくさんいらっしゃいます。生涯学習の王道といえるでしょう。私もこの一年のあいだにずいぶん多くの、このようなお気持ちで学ばれている学生さんと知り合いになることができました。

さて放送大学も通信制の大学ですが、通信制の特徴として、ともすれば学びが孤独になるという、いわば性のようなものがございます。一人でテレビないしラジオに向かって受講し、あとは本を読みさえすれば、大半の単位が取得できるのですから。これをどう打破するか。この点についてこのあと私が考えていることをお話しさせていただきます。

孤独な学びを打破する手立ては、三つあります。一つはこの学習センターを大いに活用して頂き、学びの拠点としながら他の学生と交流する、という道です。図書室やコンピュータ室の活用、興味のあるサークルに入って学習センターの教室で活動なさる、面接授業を受講して教員、他の学生と対話する、などが可能です。ちなみにサークルなどの活動であれば、当センターの施設は無償でお貸ししています。

第二に、同窓会に加入なさって、多彩な活動をエンジョイなさる。でもこれは基本的には卒業された方々の活動ですので、新規にご入学の学生さんは、ご卒業なさったあと、どうぞご入会下さい。今日はこのあと同窓会会長からもご挨拶を頂きますが、私からもお薦めします。

第三に、たとい外見的には学びが孤独に見えようとも、どこかで内面的に学びの一体感を共有することができないだろうか、と考えてみましょう。究極的には同じ目標に向かって、共に学んでいるのだ、という一体感をもって勉強する、ということです。

ここでそのための手がかりとして、先ほど皆さまと一緒に歌ったばかりの放送大学歌の歌詞を見てみましょう。この大学歌は歌詞、メロディともにたいへんよくできていると私は常々思っておりますが(那珂太郎作詞、柴田南雄作曲)、それは措きまして、一番の歌詞の第三連に「われらどこから来てどこにあるのか」とあります。これに呼応して二番の第三連は「われらどこから来てどこへ行くのか」となっています。二つ合わせてとても心を打つ問いだと思いますが、この言葉を遡りますと、たぶん二世紀から三世紀に掛けて生きた教父の一人、アレクサンドリアのクレメンスの言葉にいきあたると思われます。クレメンスは「われわれはどこから来てどこに行くのか」といったそうです。

しかし多くの皆さまが歌詞からすぐに連想なさるのは、フランスの画家ポール・ゴーギャンだと思います。ゴーギャンは晩年南太平洋のタヒチに移住し、そこで多くの傑作を描きましたが、そのなかの一つに、人間の一生を右から左にかけて横長に大きく描いた大作があります。皆さまもいま頭のなかにその作品を思い描いていらっしゃるかもしれませんが、この作品の題が「われわれはどこから来たのか、われわれは何者か、われわれはどこへ行くのか」というものです。このタイトルから、われわれは結局何を学ぼうとしているのか、そのさいく学びの一体感とはどこから湧くのか、を考えてみましょう。



ゴーギャンは、まるで前後の二つの問いを取り結ぶかのように、まんなかで「われわれは何者か」と問い掛けています。これを少し言い直しますと、「人間とは何か?」となります。これも遡れば、ソクラテスが自分の生涯をかけた哲学＝愛知の営みの課題とした「汝自身を知れ」という格言に遡ることができるでしょう。つまり古来人間にとって、「人間とは何か」が学びの究極の問いだったのではないのでしょうか。

皆さまがた放送大学の学生にとって、この問いがもつ意味あいは二つあります。

第一に、皆さまがたご自身が人間である、ということ。これまでに人間としていろいろな経験をなさり、幸せを味わう一方で、問い、悩み、驚き、不安を抱く、ということを積み重ねてこられたと思います。それらが収斂する一点が「人生とは何か」「人間とは何か」という問いではないでしょうか。この問いは皆さまが共有なさっているはずで、私はここにこそ、皆さまのく学びの一体感の基盤があると考えます。



次に、皆さまが今日入学なさった放送大学は、教養学部という一つの学部から成りたっています。実は「教養」という概念自身が「人間とは何か」に密接しています。が、これについては今日は触れないこととしましょう。ところで放送大学教養学部のカリキュラム体系は六つのコースからなっています。皆さまはこれのどれか一つに所属して、これから学んでいけます。ここで六つのコースの名称を、その意味を味わい噛みしめながら復唱してみましょう。「生活と福祉」「心理と教育」「社会と産業」「人間と文化」「情報」「自然と環境」。いずれも「人間とは何か」を解く要素となっていますし、この問いに帰着するといえます。

ちょっと脱線しますと、文系の私からすると「情報」がどのように人間と関わるのか、一瞬怪訝(げんげん)に思ったりするのですが、人間の脳味噌の脳新皮質が300億のニューロンからなる情報ネットワークであること、われわれの人生が30億対の遺伝子の情報によって支えられていることを考えれば、先の疑問は消えてくれます。

ところでアレクサンドリアのクレメンスは、先の言葉に続けて何といているのでしょうか。最後にそれをご紹介します。彼は「われわれはどこから来てどこに行くのか」に続けて、

「こうした認識が諸君を自由にする」といっています。皆さまも是非、「人間とは何か」という課題を共通目標として遥かに見すえ、そこを目差して共にいっしょに学んでいるのだという一体感を感じながら、精神の自由、心の自由を得ていただけたら、と願っております。



皆さま、本日はご入学、誠にありがとうございました。

# 教員紹介

## 学習相談のご案内

教員による学習相談を行っています。  
詳しくは「学習センター利用の手引」  
P30をご覧ください。

宇田 和子 客員教授  
専門: 英文学・食文化

川島 絹江 客員教授  
専門: 日本文学・日本文化

高野 みどり 客員准教授  
専門: 看護・カウンセリング

永澤 明 客員教授  
専門: 無機化学・錯体化学

渋谷 治美 所長(特任教授)  
専門: 倫理学・西洋倫理思想史・  
総合人間学

安藤 陽 客員教授  
専門: 経営学

吉川 好昭 客員教授  
専門: 臨床心理学

半本 秀博 非常勤講師  
専門: 細胞遺伝学

## サロンにどうぞ

教員によるミニセミナーを不定期に開催  
しています。HPやポスターなどでお知ら  
せしますので、お申し込みのうえお気軽に  
ご参加ください。

## 退任挨拶

柳井 久江

平成24年10月から平成28年3月までの3年半、当学習センターの  
客員教員として勤務させて頂きました。学生の皆さんの熱い学習意欲は最初  
の授業時から強く感じられ、教授者を幸せな気分してくれました。「入学者  
の集い」、「卒業証書・学位授与式」、「生涯学習奨励賞授与式」、「同窓会  
主催の祝賀会」、「埼玉フェスタ」などにも出席して、それぞれのコース修了  
の苦労、更に別のコースにも進もうとしている熱意には驚きと感銘を受けました。

面接授業「初歩からのパソコン」では習熟度の異なる受講者集団でも皆初心者として扱いました。  
放送大学本部での研修会や実習報告会は授業担当者にはたいそう役に立ちました。実習報告書記載の  
要望も遅滞なく取り上げて頂きスムーズに授業を進めることができました。

面接授業「楽しく学ぼうExcel」ではExcelを使う面白さを実感すれば、より高度な活用へと自然  
に関心が高まるように配慮しました。最初はテキスト通りにしか考えられないかも知れないマクロプ  
ログラムも、分かっただけでは面白くない技術と理解出来たでしょう。ここで扱ったのは不思議の世界の  
入り口です。目を輝かせてエキスパートの道を進んでいる姿を想像しております。

埼玉学習センターでは教職員、同窓会が一丸となってセンターを盛り上げていこうという機運を強  
く感じられます。なお一層のご発展を祈念いたします。

## 事務職員の交代

教務係 着任 勝山 佳子 退任 内田 秋男

図書室 着任 矢作 里子 五十嵐 喜美子 退任 酒井 史子 飯嶋 淳子

# サークル紹介

## 健康体操研究会

代表者及び連絡先

尾川 輝恵

048-781-7466

健康体操研究会は、毎週火曜日午前10時30分から12時まで8階講堂で活動しています。構成メンバーは、お若い方から熟年層まで実に幅広く、和気あいあいと「健康な心身」をめざして楽しく運動しています。そこで「適度な運動」が大事なのはわかっているにもかかわらず・・・と気後れしている方には、まさしくぴったりな研究会だと思います。

内容はストレッチ・ウォーキング・ダンス・体ほぐし・つぼマッサージ・脳トレ体操等々、実に多岐にわたっています。これらを誰でも無理なく出来る範囲で、しかも笑顔いっぱいで行っているのです。

運動は、がむしゃらにやればよいというものではありませんよね。年齢差や個人差、経験の差はあってあたり前です。それをふまえた上で、講師の難波先生が、毎回メニューを工夫しながらご指導下さっています。ですから運動が終わる頃には、じんわりと心地良い汗が出て、体の芯からほっこり温まっているのです。体全体がほぐれて、その気持ちの良い事と云ったら・・・!もう、やみつきになります。

そして、体だけでなく心も健康になれるのです。難波先生の楽しいお話を聞いていると心が開放されポジティブな気持ちがわいてきます。メンバーとのおしゃべりも活力源になります。

1回に限り無料体験ができますので、ぜひいらしてください。美男美女達?が、心からお待ちしております。



代表者 及び 連絡先

野呂 生男

090-1040-0259

## サークルおおみや

「サークルおおみや」は何をやっているサークル?これがいつも聞かれる質問である。

「サークルおおみや」は、屋外での活動を主に、会員相互の懇親を深め豊かな人間関係を築くことを目的にスタートしました。今年度の活動としては、3月に目黒川周辺の桜見物、庭園美術館、自然教育園の見学を実施、4月は上野東京文化会館で開催された「モーニングコンサート」(梅村知世:ピアノ演奏)と東京国立美術館「黄金のアフガニスタン展」の見学を実施しました。今後の活動としては、5月に高尾山のハイキング、6月に横浜散策などを予定しております。下期の計画は、会員の皆さんの希望を徴しながら、秋には、一泊または二泊で研修旅行を実施する予定です。

放送大学の葉に「格物致知」(知を致すは物に格るにあり)(知識が、人生を変えていく)の言葉を見付けました。学びにいろいろな方法があると思いますが、見聞を広めることは人間を豊かにします。当サークルに参加して楽しい学校生活を築こうではありませんか。

現在の会員数は約30名です。随時入会できます。(年会費は2,000円です。下期の入会は1,000円です。)



# 平成27年度第2学期 生涯学習奨励賞

金剛

今福 佐喜男

生涯学習奨励賞を頂いて教養学部を卒業した。在学期間は十五年余である。教職員および先輩・学友に恵まれ楽しい学校生活を送った。

面接授業・サークル活動での思い出が多くある。面接授業は所属センターだけでなく、九州、四国、広島、京都、新潟、東北にも出かけた。サークル活動では、海外にも登山に出掛けた。学生の多士済々には驚いたり吃驚したり自分を恥じたり。卒業研究をした仲間とは、十年来集まっているが四人の友が鬼籍に入られた。サークル仲間を入れると両手では足りず足の助けも必要である。生涯学習奨励賞を頂戴したのであるから5年かけて、大学院修士課程を終えたいと思っている。

金

学びが私に情熱を与えた

佐々木 みつる

社会福祉の仕事が続け数十年これでもいいのか仕事に充実感を味わえ、その時、放送大学で生活と福祉コースに入学をした。福祉の仕事をしていて処遇と運営管理について仲間と改善についての研究発表をし、積み重ねた経験もあったので、さいたま市学生政策提案の募集を大学の掲示板で見、誰に相談する事なく、提案内容に応じ市から資料を提供してもらい、必要に応じ訪問し、記事を作り、当日のプレゼンテーションの折り、聞き操作を退職された松崎先生にお手伝い願った。驚いた事に提案学生は有名校で私の孫のような学生で、グループ参加。一人で参加であったが、度胸と発表経験を活用し四回まで挑戦。五回目は観戦。休憩時、孫学生担当教授が声を掛け、参加しないのかと問われたので、苦笑しチャンスがあればと返答。今思うと学びが私に情熱を与えてくれているのである。

銀

私の放送大学30年間

波多野 常蔵

放送大学に入学したのは、大学が開学した2年目の昭和61年4月です。当時の埼玉学習センターは、大宮市立東中学校の一角で面接授業が行われておりました。私の第1回目の学位授与式は、虎ノ門ホールで挙行され、様々なことが心をめぐり感激したことを思い出します。第3回目の在学中に、昼夜開講する大学院があると知り、そちらに進学するため退学。2つの大学院で学びましたが、放送大学が無かったら出来なかったと考えています。

定年を過ぎ「生活と福祉」で主に医学・看護学・スポーツ学について学び、第3回目の卒業で入学以来30年目にして「生涯学習奨励賞銀賞」をいただきありがとうございます。今後も再入学をして、頭と体の続く限り、私の「ロングライフエデュケーション」を家族の協力のもとに楽しく続けていきます。

銀

社会と産業

永見 洋介

私は、学生新聞編集記者で主に社会と科学を担当しています。なるべく面白く興味にと、努力をしています。これからの記事は面白く興味に、を目標として書いて行きたいと考えています。

同窓会報紙であるあれは、まったく面白くは無いのですが目的が違うからでしょう。

ずいぶん長いこと居るのねえ、といわれることもあるが大学院修士全科生をしたり仕事をしていたこともあったので、あつという間でした。これからは情報コースを取ります。

およそ10年前に高血圧症を患ったことがあります。常設された血圧計でのチェックでは、随分お世話になったものでした。最近受付階にあった血圧計が置いてないのは、どうしたのだろうか。高齢の学生が多い中、常設された血圧計によるチェックで治療に繋がる“ということは、とても良い事だと考えられます。是非にも血圧計の常設置は、試みて欲しいものであります。

## 生涯学習奨励賞受賞者

〔金剛賞〕 3名

荒井 芳宏様

今福 佐喜男様

更岡 美枝子様

〔金賞〕 1名

佐々木 みつる様

埼玉学習センターでは、複数の専攻・コースを卒業された方を表彰する「生涯学習奨励賞」の制度を設けています。平成27年度第2学期卒業生からも13名の皆様が表彰されました。受賞された皆様、まことにおめでとうございます。

受賞された方のうち、7名の方にコメントをお寄せいただきましたので、掲載させていただきます。

銅

木須田 勲

小学校4年生の時、クラブ活動が始まる事となり、先生から「何をやりたいか?」と聞かれ、あまり考えもなく「天文をやりたいです」と答えた。それから「少年天文学」を読み、急に興味がわいた。特にローウエルの火星の観測で「火星には運河がある」というのには、興奮を覚えた。

高校生となり、大学に進むにあたり、天文学を選ぶか、化学を選ぶか迷ったが、家庭の事情もあり、就職に有利な工学部にすすむ事とし応用科学を選び天文学は定年後とした。

定年後放送大学に入学し、天文関係の科目を修得し、卒業研究にも天文関係のテーマを選んだ。入学から14年、3回目の卒業となった。

その間お世話になった皆様に深く感謝申し上げます。

銅

櫻井 美智子

駅からすぐの大宮校は通いやすく、図書室や学習室で勉強している人たちの中に身を置くことで、程よい緊張と刺激が士気を高めてくれました。疲れたときは、図書室の美術書が夢の世界へ連れて行ってくれます。

『認定心理士』取得の際、「心理統計法」や面接授業の実験レポートの提出が必要ということで、理数系が苦手な私は、「学習相談」を受けました。結局、努力あるのみと知るのですが、決心がつかしました。面接授業の講師の先生は理解できるまで居残る私に、根気強く、本当に丁寧に御教授くださいました。

勉強を続けて行くうちに、様々な学問のつながりを知り、ちょっと難しい本も読むことができるようになり、充実した日々を送っています。

銅

三コースを修了して

中村 和明

思い起こしてみれば、放送大学の入学動機は何であったのだろうと考えても明確な答えが思い出せない程、昔の話になってしまった。

当時、住んでいた近くの書店の入り口にあった放送大学の入学願書が目にとまり、願書を提出したのが1987年のことであった。

まず、高等学校を卒業していなかったので全科履修生として入学資格を得ることを目標に特修生として入学した。その時は、現役の会社員をしていたので入学要件の16単位の取得に長い時間を要して全科履修生として入学することができた。

在職中は、出来る範囲で、しかも明確な履修計画を立てず履修をしていた為、卒業を達成する事はできなかった。

2008年に定年退職してから目標を立てて取り組み、一つ目のコースを卒業する事ができ、続けて学士入学した二つ目のコースは、2年で卒業する目標を立て履修し卒業する事ができた。

更に三つ目のコースに入学して同様の目標を立て卒業する事ができる、これらの経験から実感できた事は努力すれば必ず成果は付いてくる、継続は力に成るということを体感する事ができ充実した学生生活であった。

## 生涯学習奨励賞受賞者

〔銀 賞〕 6名

岡野 充甫 様    川田 隆司 様    永見 洋介 様  
波多野 常蔵 様    松戸 良子 様    三村 正巳 様

〔銅 賞〕 3名

木須田 勲 様    櫻井 美智子 様    中村 和明 様

## 放送大学、私の体験



大西 亮(あきら)

### はじめに

平成27年8月、彩講会の会長を辞任し、続いて車の運転も止めた。あれもやめ、これもやめると、ボケが進行して、後は死ぬだけだとの陰口を聞く。何か新しいものを作りたいと考えていたところ、放送大学にめぐり会った。

10月から受講を始め、1月24日に期末の試験が終わったばかりである。合格点は取れたように思うが駄目かも知れない。駄目であっても今のところ再試験を受けて単位を積み重ね、卒業まで頑張り通すという気持ちにまではなっていない。単位を貰うことより半期で一科目学習したことで十分な気がする。

卒業するまでには124単位を取らねばならず、1科目2単位として62科目を達成することは、81歳の私にはとても無理である。半年に一科目か二科目を受講して楽しみながら新しいことを学ぶことにした。350講座もあるので興味を持ってそうな科目は容易に見つかりそうである。

以下は受講してから四ヶ月間の感想や今後について考えたことである。

### 動機

- ・去年、彩講会に入会した本間美江(よしえ)さんから自分史、「生きてこそ」を貰った。素晴らしい内容だった。その中に10年かけて放送大学を卒業したことが書かれており触発された。

### やってみての感想

- ・受講したのは、「事例から学ぶ日本国憲法」と「日本政治外交史」の二科目である。これぞまさに生涯学習であることを実感した。
- ・「こんなことを知らないまま死ぬところだった」と思うことが幾つかあった。
- ・期末には試験がある。そのためにはテキストを読み、テレビの講義を聴かなければならない。科目の学習に時間を取られ、それまで気ままに楽しんでいたことを多少なりとも犠牲にしなければならないことが辛かった。
- ・12月後半になると、そろそろ準備に入らなければ……と、気がかりになる。年末から年始にかけて子供や孫たちがやってくるので、試験の準備は中断してしまった。一行が帰ってから漸く本格的な準備を再開、徐々に緊張感が高まって、それからの半月間が正念場となった。
- ・テキストを読みながらノートを取り、録画撮りしておいたテレビの講義を聴く。10月以降、テキストを三回読んだ。同じ本を三回も読んだことは初めてである。難解と思われた箇所も少しずつ分かってきた。
- ・それにしても大学教授の文章や裁判官の判決には往生した。特に最高裁判所の裁判官の判決は回りくどい。法律の文章はどうしてあのようにになってしまうのだろうか。一つのセンテンスが長過ぎる。読んでゆく途中で何が何だか分からなくなる。文章を二つ、三つに区切ってくれると分かりやすくなるのだが……。
- ・試験は政治外交が記述式、憲法が択一式のマークシート方式だった。記述式は何とかなりそう。過去問を参考にして出題を予想し、重点的にテキストを読み進むことは楽しかった。
- ・しかし、出題は、「国際化について800字以内で述べよ」だった。ヤマが外れ、過去問とは傾向の異なる題に一瞬戸惑ったが、なんとか仕上げ提出した。可否は疑問である。
- ・マークシート、これは良くない。採点する先生方は手間が省けていいかも知れないが、将来性のある若者の教育のためにはよくない。肯定と否定を入れ替えたり、文章をわざと間違えて書いてみたり、



やるがちまちましている。これでは日本語の文章力、思考力や素晴らしさを教えることにはならない。戦後教育の問題点を改めて知った。

- 大学の先生は教えるプロと思っていたが必ずしもそうではない。教えることが上手な人は少ない。下手な人が多い。声が小さい、早口、うつむきかげんで原稿を読んでいるような人、暗い表情、センスのない服装などには聴く気が起きない。自分の頭の悪さを棚に上げて、愚痴を並べてしまった。
- ひとまず試験が終わってホッとしているが、選んだ科目から得たもの以外に、もっと大きな収穫があった。新しい知り合いが出来たこと、知り合いにならないまでも、素晴らしい努力をしている人の多いことを知った。大学のコースを二つ三つ修了した人は珍しくない。修士コースや博士コースの人もいる。
- 知り合いをつくり元気を貰いたい期待もあって、囲碁クラブとパソコンクラブに入った。これが楽しい。クラブの人たちは明るく前向き、そして親切である。
- 施設見学なども魅力的だ。2月の気象庁見学会が楽しみである。
- 古い仲間は一二人と旅立ってゆく。新しい友達づくりが出来れば、長生き出来るのではなかろうか。

#### これからどうするか

- 4月からの受講は一科目、「民法」だけにした。残された人生を大切に過ごす意味で、「民法」を学びたいと思った。硬い科目はこれでおしまい。次の10月からは楽しさを優先して科目を選ぶことにする。
- 通信講座の他に面接授業というのがある。普通の学校方式で一日か二日の集中授業のようだ。やはりテレビの講義より生の授業を受けてみたいと思い、4月から始まる28年度前期では四講座を申し込んだ。

#### あとがき

入学してまだ半年に満たないが、学習センターの職員のみなさんは親切で感じがいい。在校生もしかりで、当初、受付で質問をしていた私の話をそっとそばで聞き、受付の話が終わると声をかけてくれ、受講に関わる様々なノウハウを教えてくれた。クラブ活動に興味を示すと、早速クラブの世話人を紹介してくれた。

年配の受講生は頭も、眼も、耳も老化して問題を抱えている。願わくば難しいことでもやさしく教えてくれる先生の多からんことを願っている。

(エッセイ集『日々是新也』三十八号から)

2017年度履修者向け

## 卒業研究ガイダンス

6月26日(日) 13:00~14:30  
埼玉学習センター 9F 第2講義室

卒業研究の履修を検討されている方は、事務窓口またはお電話でお申込ください。  
当日はガイダンス終了後、履修修了者による卒業・修士論文研究発表会を開催します。  
ひきつづき、ご参加ください。

## 面接授業の追加登録をしてみよう！！

まず、空席を確認する。

- ① 学習センター内の掲示を確認する。埼玉学習センター開講科目は毎朝更新します。
- ② システムWAKABAから確認する。リアルタイム情報です。

システムWAKABA→科目登録申請→空席照会→空席数・授業日・申請期限を確認

次に、受講したい科目を追加登録する。

- ① 当該科目を開設する学習センター窓口で申し込む。  
学生証と授業料をお持ちください。申込書は窓口にあります。
- ② 現金書留による申し込み。  
\*下記4つを全て同封し、現金書留で学習センター宛に郵送する。
  - ・追加登録申請書（HPからダウンロードするか、面接授業時間割表にあるものを利用）。
  - ・学生証のコピー。
  - ・所定の授業料（¥5,500/1科目）。
  - ・82円切手を貼付した返信用封筒。（科目登録決定通知書をお送りします。）

空席数は検索時のものです。申請時には変わっている場合がありますので、ご承知ください。

登録科目を受講する。

- ① 授業開始時刻までに、直接、講義室(もしくは集合場所)にお入りください。  
講義室は学習センターの掲示でご確認ください。
- ② 学生証・指定された携行品(教科書等)をシラバスで確認のうえ、受講してください。
- ③ 「学生教育研究災害傷害保険」への加入の記述がある科目は、**授業前日までに必ず最寄の学習センターで手続きをしてください。**

## 共修生になりませんか

生涯学習機関としての放送大学の役割に照らし、在学生の登録期間終了後に空席が生じた場合、放送大学の学生でない方も「共修生」として受講できます。卒業生、大学院に在籍している方、教養学部の在 student で単位修得を目的とせず、知識・教養を深めるために受講を希望する方も受講できます。

授業開始前までに、学習センター窓口で受講料¥5,500を添えて、お申込みください。

# 平成28年度第1学期単位認定試験を受験する

—大学院の試験—

平成28年7月22日(金)・23日(土)

—教養学部の試験—

平成28年7月24日(日)～31日(日)

※7月25日(月)及び、29日(金)は閉所

◆試験に伴い、放送教材は下記の期間貸出停止となります。

平成28年7月15日(金)～31日(日)

\*28年度第1学期から単位認定試験に伴う  
図書貸出停止期間はなくなりました。

まず、「学生証」を受取る。受験に必要です。

学生証には期限があります。確認してください。

試験期間前に、ご本人がお受取りください。

システムWAKABAへの顔写真の登録がない方は学生証を発行できません。システムWAKABAの学生カルテから登録をされるか、写真票（キャンパスネットワークからダウンロードするか、「学生生活の葉」にあります。）で本部へ依頼してください。本部へ依頼なさる場合は、発行までに2週間ほどかかりますので、ご注意ください。

①通信指導を提出する。Webでの提出がお勧めです。

未提出もしくは不合格の場合は、受験が出来ません。

提出期間

郵送 5月24日(火)～6月7日(火) 本部必着

Web 5月17日(火)10:00～6月7日(火)17:00



②受験票が届く。

試験日の一週間ほど前までに、送付されます。

受験科目、試験時間、試験会場を確認し、「単位認定試験受験に際しての注意事項」をよく読んでください。

③受験する。

学生証、受験票をご持参のうえ、開始時間に余裕を持って来所する。

受験票に記載された講義室へ直接行ってください。ただし、前の時間の試験が終了するまでは試験室に入れません。

図書閲覧室のほか、自習室を設けていますので、ご利用ください。

## ★過去問題を見てみよう★

過去1年分の問題・解答等が閲覧できます。

キャンパスネットワークホームページ→資料室→単位認定試験問題・解答等→27年度第1学期・第2学期/教養学部・大学院/27年度夏季集中(看護・司書教諭)→科目一覧

科目コード順に一覧表が出てきます。見たい科目のPDFをクリック。  
PCが苦手な方は、図書室で閲覧することもできます。

# 平成28年8月より

窓口業務・情報端末室・図書室・視聴学習室利用  
時間に変更になります。

火曜～土曜 10:00～18:30



**9:30～18:00**

日曜 9:30～18:00  
(従前どおり変更はありません)

## シリーズA <日本の古典文学の魅力> (全5回)

- 5/29 (日) 『万葉集』 歌の旅情表現—遣新羅使人等の月を詠む歌—  
講師：平舘 英子 (元日本女子大学文学部教授)
- 9/11 (日) 『徒然草』 の魅力について (題目未定) 講師：島内 裕子 (放送大学教授)
- 11/6 (日) 『奥の細道』 にこめた芭蕉の思い 講師：魚住 孝至 (放送大学教授)
- 29年  
1/8 (日) 『源氏物語』 の魅力について (題目未定)  
講師：川島 絹江 (放送大学埼玉学習センター客員教授)
- 3/15 (水) 『枕草子』 の季節—ホトトギスが鳴く頃—  
講師：赤間 恵都子 (十文字学園女子大学教授)

## シリーズB <正しく怖がる> (全5回)

日程:6月、8月、10月、12月、29年2月の日曜開催予定(順序、題目未定)

- 「巨大地震と津波」 講師：石川 有三 (元地磁気観測研究所長)
- 「地球温暖化とオゾンホール」 講師：牧 広篤 (元気象庁高層気象台長)
- 「原子力利用と放射能」  
講師：永澤 明 (埼玉大学名誉教授・放送大学埼玉学習センター客員教授)
- 「宇宙からの脅威—天体の衝突など」 講師：大朝 由美子 (埼玉大学准教授)
- 「癌の予防」 講師：菅沼 雅美 (埼玉大学理工学研究科教授)

詳しくはホームページをご覧ください

埼玉学習センターに関する情報は、ホームページでいち早くお知らせ  
しています。是非、ご覧ください。

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2  
大宮情報文化センター (通称: JACK大宮) 内 (受付: 10階)  
TEL 048-650-2611 FAX 048-650-2615

